

自己評価報告書

平成23年 4月25日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2009～2012

課題番号：20320021

研究課題名（和文） 「ヨーロッパ―アジア」の美学的理念史

研究課題名（英文） Aesthetic History of Ideas of Europe and Asia

研究代表者 小田部 胤久 (OTABE TANEHISA)

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号：80211142

研究分野：哲学

科研費の分科・細目：美学・芸術学

キーワード：

1. 研究計画の概要

「ヨーロッパ」および「アジア」という概念が成立し定着していく過程、またこれらの概念に付されたさまざまな正負のコンテクションの変化を、ヨーロッパおよびアジアの諸地域および諸時代の美学的言説・図像・芸術作品・芸術活動に即して明らかにしつつ、現代におけるヨーロッパ―アジアの関係を再考することを目指す。具体的には次の三つの課題を果たす一課題は、ヨーロッパにおける「ヨーロッパ―アジア」概念の美学的コンテクションを、とりわけ美学的言説の検討をとおして明らかにすることである。第二の課題は、17世紀から19世紀中葉にいたる東アジアの側から「ヨーロッパ―アジア」概念がいかに受容されたのかその過程を美学的に明らかにすることである。第三の課題は、ヨーロッパとアジアの関係が相互的となった20世紀において、ヨーロッパとアジアが単に他者をいかに表象したか、のみならず、他者の目を介して自己をいかに表象したのか、といった相互的＝再帰的視点を交えて、「ヨーロッパ―アジア」関係を美学的に解きほぐすところにある。

2. 研究の進捗状況

小田部は、第一・第二の課題に対しては、「グローバル化の三段階」という観点から、近代初頭から20世紀にいたる「ヨーロッパ―アジア」関係を読み解く試みを提起し、「アジア芸術学会」などで報告を行った。また、第三の課題に対しては、(1)1920年代から40年代にかけて活躍した哲学者木村素衛の哲学的・美学的思想の展開を追いつつ、40年代に「国民文化」論が浮上した経緯を解明し、かつこの「国民文化」論がけっして当時のナ

ショナリズム的言説には解消されず、むしろ個々の文化を独立させずに常に他の文化との協働関係のうちに捉える間文化的視点を含みうるものであることを明らかにした（その詳細を著書『木村素衛——「表現愛」の哲学』（二〇一〇年、講談社）に、ドイツ語ではクナツ・カスパー・小田部共編著 *Kulturelle Identitaet und Selbstbild. Aufklaerung und Moderne in Japan und Deutschland* (Berlin 2011) に、英語では *International Yearbook of Aesthetics*, vol 14 (2010) に公表された)。さらに小田部は(2)1930年代に日本に亡命したユダヤ系ドイツ人哲学者レーヴィットにとっての日本滞在の意味を検討し、レーヴィットの日本滞在が後期レーヴィットの「自然」観と密接に結びついていること、日本に対する批判的眼差しがヨーロッパそれ自体へと折り返され、ヨーロッパの自明性を改めて問いに付すことを可能にしていることを明らかにし、その成果を国際美学会議等で報告した。渡辺は、明治期以来の「唱歌」およびその系譜の音楽（卒業式の歌、校歌、都道府県歌）や戦後のうたごえ運動の考察を著書『歌う国民——唱歌、校歌、うたごえ』（中公新書）にまとめ、そもそも「芸術」ではなく、国民を作り上げるための「道具」であったものが、日本人の「心の原風景」とみなされるにいたった過程を、さまざまな力学の織り成す場として解明し、これまでの日本の洋楽受容史研究を一新した。

3. 現在までの達成度

① 当初の計画以上に進んでいる。

今回の研究テーマについては、すでにロー

タール・クナーツ、ノルベルト・カスパー、小田部胤久三名によるドイツ語の共編著『文化的同一性と自己像——日本とドイツにおける啓蒙と近代』（ベルリン）を2011年3月に公刊したが、これは本科研費による研究の中間報告ともいうことのできるものである。

4. 今後の研究の推進方策

本研究には国際協力が欠かせないが、9月からはウルリヒ・シュタインフォルト氏（トルコ・ビルケント大学教授、ハンブルク大学連携教授）と半年間にわたり東西の「自我」概念についての比較研究を行うとともに、その成果を踏まえて、本研究全体の研究成果をドイツ語による著書 *Beitraege zur interkulturellen Aesthetik* としてまとめる予定である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計22件）

Tanehisa Otabe, “Making a Case for a Cultural Exchange of Aesthetics between Europe and Japan: The Three Stages of Cultural Globalization,” in: *The Journal of Asian Arts and Aesthetics*, Vol. 2 (2009), pp. 7-14.

小田部胤久「レーヴィットと「二階建て」の日本——間文化性をめぐる一つの寄与——（『美学芸術学研究』28号，2009年，179-210頁）

小田部胤久「『世界的潮流』のなかの日本の芸術——和辻哲郎『古寺巡礼』の文明論に寄せて（『文明と哲学』日独文化研究所年報第2号，2009年，74-86頁）

Tanehisa Otabe, “To What Extent Are Japanese Aesthetics Asian? On the Self-Images of Modern Japan,” in: XVIIth International Congress of Aesthetics. Congress Book 1. Panels, Plenaries, Artists’ Presentation, Ankara, July 2008, pp. 103-108

Hiroshi Watanabe, “Building the body and mind of Japanese “Nationals”: Modern history of “Song (shōka)” in Japan,” in: *International Yearbook of Aesthetics*, vol 13, 2009, pp. 189-208.

〔学会発表〕（計15件）

Tanehisa Otabe, “Karl Löwith and Japanese Thinking That Consists of Two Floors: A Contribution to Intercultural Aesthetics,” 18th Internaitonal Congress of Aesthetics, 2010.08.09,

Beijing University.

Tanehisa Otabe, “Japanese Aesthetics seen from Intercultural Point of View”, 18th International Congress of Aesthetics, 2010.08.10, Beijing University

Tanehisa Otabe, “Soetsu Yanagis Theorie der Volkskunst im Hinblick auf die Interkulturalität”, Identitaet – Differenz, Selbstheit – Fremdheit, 2009.07.26, University of Wuerzburg, Germany

Tanehisa Otabe, “The Three Stages of Cultural Globalization: Making a Case for a Cultural Exchange of Aesthetics between Europe and Japan”, The 6th International Congress of the Asian Society of Art in Taipei, 2008.12.18, Taipei
渡辺裕「日本近代のなかの宝塚歌劇」国際シンポジウム「戦間期（1918-1938）大阪音楽と近代」2009.12.04. 日本国際文化研究センター

〔図書〕（計5件）

小田部胤久『木村素衛——「表現愛」の哲学』（講談社、2010年、204頁）

Lothar Knatz, Norbert Caspar, Tanehisa Otabe, “Kulturelle Identitaet und Selbstbild. Aufklaerung und Moderne in Japan und Deutschland”, LIT Verlag, Berlin, 230 p.

渡辺裕『考える耳再論——音楽は社会を映す』（春秋社、2010年、155頁）

渡辺裕『歌う国民——唱歌、校歌、うたごえ』（中央公論新社、2010年、298頁）

小田部胤久『西洋美学史』（東京大学出版会、2009年、267頁）

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：

取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕